

年間テーマ 過現未<過去・現在・未来>による防災対策

上総まちなか大学院／開講 <http://www.kofuza.com/html/act.html>

- ① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場
- ② 4.11／過去から学ぶ・・・究極の安全&防災対策とは？！
- ③ 5.11／《現在》「フェーズフリーとは？」

参加費無料

④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる

講師：目黒伸一（国際生態学センター 主幹研究員・工博）

◇日時 2021年6月11日（金） 14:00～16:00

◇会場 大原文化センター（リアル定員 40名）

いすみ市大原 7838 TEL 0470-63-1222

<https://map.goo.ne.jp/place/EMRFF8HA/map/>

【講座内容】東日本大震災では、津波により家屋が流失、倒壊、浸水等の被害を受けたが、防風・防波・防飛砂としての海岸の樹林は、減災効果があったと確認されている。ただし、松林よりは地元の植生に由来した広葉樹林の方が、林自体が津波への耐性（倒壊・折損・流出など）があり、家屋の被害対策に有効であった。植物生態学者の宮脇昭（横浜国立大学名誉教授&国際生態センター名誉館長）氏は、「森の防潮堤」を進めている。宮脇氏と活動をされている目黒伸一氏に、九十九里海岸をはじめとする地元外房海岸における「森の防波堤（防潮堤）」の可能性について、解説して頂き検討したい。



- ⑤7.11／《過去》「展望台&FM局付き発電風車」
- ⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災レシピ」
- ⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性（FS）」
- ⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」
- ⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」
- ⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」
- ⑪1.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

大原文化センターへのアクセス：JR外房線 大原駅下車、徒歩6分。
いすみ市大原 7838
TEL 0470-63-1222



【目的】2021年の今年、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥インフルエンザなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。

「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能ないすみ市をみなさんとともに作りたと思います。

【主催】一般社団法人 洗楓座／上総まちなか大学院
《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》

【共催】イベント・バンキング運営組織委員会

【協賛】いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、
コスモ食品（株）、（株）光と風の研究所

【後援】いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ

【問合せ】kofuza@gmail.com / 090-1268-5882（佐藤建吉）

／ <http://www.kofuza.com/html/act.html>

